

学校評議員会議記録

開催日時	平成26年6月25日(水) 10時00分～12時00分	
会 場	本校会議室	
出席者数	学校評議員 4名	学校 8名
出席者氏名	森脇 久幸氏 (PTA会長) 入宇田尚樹氏 (東京農業大学教授) 阿部 哲実氏 (サライズ'01ト施設長) 高田 巧氏 (高田メンテナンス 代表取締役)	・校長 安戸 岳夫 ・教頭 仲 條 正輝 ・事務長 中 村 勝彦 ・小学部主事 木 村 奈津子 ・中学部主事 富 樫 洋子 ・高等部主事 平 野 栄一 ・訪問チーフ 阿 部 美也子 ・寮務主任 千 種 一郎

1 学校長挨拶

2 委嘱状の手交

3 説明事項

(1) 本年度の学校経営方針について ※学校長より学校経営方針の説明

- ・経営の方針
- ・教育の方針

(2) 学校経営の具現化について ※教頭より学校経営の具現化について説明

- ・専門性、指導力、授業力向上の取り組み
- ・地域のセンター的機能の推進と充実
- ・PTAとおやじの会の取り組み
- ・危機管理と防災訓練の実施
- ・時間外勤務縮減の取り組み

(3) 各学部等の説明 ※各学部主事、訪問チーフ、寮務主任よりそれぞれ説明

- ・小学部、中学部、高等部、訪問教育、寄宿舎

4 授業参観

5 質疑応答

①職場開拓について

(入宇田評議員) 授業を初めて見て、学校のことがよく分かった。学校評議員会議の持ち方も工夫されていて、外部の者がみても分かりやすくて良かった。ところで、高等部の職場開拓はどのように進めているのか、教えてほしい。

(校長) 職場開拓は、高等部の入学前から行っています。入所施設、通所施設はもちろんのこと、ハローワークとも連携して進めています。また、昨年度一般就労した生徒が卒

業しましたが、就労する際は、北見市の就労相談事業所「あおぞら」と連携をして、進路指導を進めました。毎年、進路指導の教員が現場実習先を回っています。進路先の選択については、保護者の希望も踏まえて、なるべく希望に沿うように進めているところ
です。

②校内人事について

(入宇田評議員) 職員の人事異動は、どのように進めているのでしょうか。

(校長) 校内の人事については、例えば小学部の児童が中学部に上がる場合、一部の小学部の職員が持ち上がることはよくあります。ただ、最近は保有免許のことがあるので、基礎免許を元に人事は行っています。また、特別支援学校の教員免許があれば、担任はできませんが、学部付きの教員として配置することは可能です。

③危機管理マニュアルについて

(高田評議員) 経営方針にある危機管理マニュアルは、既に配布したのでしょうか。

(校長) 配布しています。マニュアルについては、詳細なものが学校経営計画に掲載しています。学校経営計画の103ページからいろいろなことを想定して書いていますが、しっかりと読み込まないと分かりづらい部分もあるため、パッと見て、分かりやすいものに作り直しました。一つのケースについて一枚として、項目も減らして、保護者に分かりやすいようにまとめました。また、例えば、台風の対応について、昨年度の経験値から、警報を一つの基準としました。保護者への電話連絡についても翌日の何時までと具体的に決めました。

(高田評議員) 非常に分かりやすいです。

(校長) このマニュアルは7つの項目がありますが、実は7名の教員で作成しました。そのため、ナンバリングや細かい部分でやや統一感に欠けていると感じています。今後の課題として、もう少し整合性がとれればと考えています。また、今年は災害時における事業所との連携の部分について、整備をしたいと考えています。

④時間外勤務縮減の取組について

(高田評議員) 時間外勤務縮減の取組について、もう少し具体的に説明してください。

(校長) 今年度の初めに、職員から時間外勤務縮減のアイデアをとりました。一番多かったのは、意識の問題です。例えば、職員全員が早く仕事を切り上げるようにするとか、時間を意識して仕事をするということです。二番目に多かったのは、物理的な問題です。意見の中には、土日は絶対に鍵を掛けて、学校に入らないようにするという意見も出ていました。その中から現実的にできることを考えた結果、今年度から隔週金曜日だった定時退勤日を毎週にして、取り組んでいます。全道的に健康を害する職員は増えてきています。職員が健康を害すると最終的には子どもへ影響が及びます。特に特別支援学校では教員が変わったことで影響を受けやすい子どもも多いです。そのため、本校でも時間外勤務縮減を進めています。また、それだけではなく、学校事務の業務を減らすことにも取り組んでいます。個別の指導計画のスリム化の説明がありましたが、無駄な業務は極力減らし、負担軽減を図りたいと考えています。

(高田評議員) (時間外勤務縮減は) 難しいものがあります。仕事の仕方も個人差がある。永遠のテーマだと思います。

(校長) 今は昔と違って個人情報の持ち出しができなくなっています。そのため、昔より学校に遅くまで残って業務をする方が増えていると思います。昨年度の途中から会議のペーパーレス化を行い、業務負担の軽減を図っています。本校は職員数も多いので、資料の印刷と帳合いには時間を取られていましたが、ペーパーレス化をすることで少しではありますが、負担軽減にはなりました。

(高田評議員) ペーパーレス化は良いことであると思います。ただし、今の業務をさらに見直すことも必要ではないでしょうか。

(校長) 子どもに係る業務を減らすことはできませんが、それ以外で無駄な部分については減らすことがまだまだできると考えています。会議の進め方について、教員はどちらかというといろいろな意見は出し合うが結論が出ないことが多い傾向があります。なかなか職員には理解しづらい部分ですが、コストパフォーマンスの観点から考えると無駄なことがたくさんあると考えています。なので、あらかじめある程度の案を持ち寄って効率的に会議を進め、短時間で終わるように職員に日常的に話をしています。

(高田評議員) 会議の時間を短縮することは必要だと考えます。

6 校長から

(校長) 本日は、貴重な意見、ありがとうございました。今回はいつもと趣向を変えて実際に授業を見ていただき、教員から説明をしていただきました。今後とも学校に足を運んでいただき、良かったなと信頼される学校作りに努めてまいります。これからも様々な機会でご意見をいただきたいと考えます。